

種名	<p>スズメ目 ヒバリ科 ヒバリ (<i>Alauda arvensis</i>)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>①成鳥</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>②成鳥(囀り飛翔)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>③幼鳥</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>④成鳥(小群)</p> </div> </div> <p>(出典)(株)応用生物資料</p>
分布	<p>全国に広く分布し、九州以北で留鳥として繁殖する。冬季には暖地に移動する個体もある。</p>
形態	<p>全長 17cm、翼開長 32cm、体重 32～38g。 ・雌雄同色。頭から尾羽までの上面は淡い黄褐色で、黒褐色の斑がある。眉斑は白っぽく、耳羽は赤褐色味がある。体下面は全体に白っぽく、胸には淡い黒褐色の縦斑、脇腹には褐色の縦斑がある。 ・雄は頭頂の羽をよく立てるが、雌は雄ほど立てない。</p>
生態	<p>・畑地、草地、河原など、開けた環境を好む。 ・地上で営巣するが、繁殖期には雄が飛びながら空中で囀り、なわばりを誇示する。 ・非繁殖期となる秋以降は小さな群れをつくって生活する。 ・繁殖期には昆虫類、クモ類など動物質を多く食し、非繁殖期には植物の種子などが主食となる。</p>
空港内の行動	<p>・空港の緑地帯はヒバリの一大生息地となっており、繁殖活動を行う。周年生活する場合と冬季暖地に移動する場合がある。</p>
防除対策	<p>・銃器や煙火などに動じることが少なく、生息環境(緑地帯)自体を改変するなどの対応が理想的である。</p>
リスク評価	<p>体重が軽く、衝突した場合の機体損傷率も1%未満と低いが、衝突頻度が高く、ランウェイチェックによる遅延が発生しやすい種類である。</p>
特記事項	<p>九州以北の空港の多くで優占種となっている。</p>

鳥衝突報告のデータ整理について

バードストライク・鳥とのニアミス発生



運航者

毎月10日まで

前月分の鳥衝突事案をサイトに登録
(登録後、適宜、空港管理者から依頼事項等の情報を更新)

各空港管理者

月末まで

自空港分のデータの確認・補足。

◆未登録データ

- 自空港にて把握している鳥衝突が登録されているかを確認。
※登録されていない場合、運航者への登録を要請。

◆登録データの補足

- 後日入力予定やOTHER等の運航者情報の更新が必要なる場合には、運航者への修正を依頼。
- 空港管理者で知り得ている情報(鳥種、鳥の数、使用滑走路など)を補足入力(特に、鳥種は重要)。
※入力した場合、該当運航者への情報共有に努める。
- 鳥種が不明な場合はその理由を備考に入力。
(詳細手順は次頁以降参照)

空港運用業務指針により、空港管理者は運航者に対して鳥衝突報告を提出するよう指導することが求められています。

鳥衝突の傾向・分析

- データの補足をしながら特に下記の事項について傾向を分析
 - ・衝突回数の増減(各月の傾向を把握)
 - ・鳥種(季節毎の特徴を把握)
 - ・衝突時間帯(日中帯・夜間・薄暮等、鳥種による特徴も分析)
 - ・衝突場所(滑走路のどのあたりか。鳥の出現場所を分析)等

サイト管理者(航空局)

翌月以降、順次承認

データの最終確認・承認の実施

- 承認作業に伴い空港管理者や運航者に問合せを行うことがあります。
- DNA調査等で判明した鳥種は適宜追加。
- 承認後のデータの編集は原則不可。
- 編集が必要な場合は、サイト管理者まで連絡。

上記分析結果を踏まえ、
鳥を寄せ付けない対策を検討
(実施した対策の検証、見直しを含む)

鳥の嫌がる行為を継続的に実施し、
住みにくい環境を構築。

バードストライクデータの完成！！

効果的な鳥衝突防止対策を行うためには、
バードストライクデータの蓄積・分析が重要です。

空港管理者作業手順

① データ抽出

鳥衝突情報共有サイトの「Database」を選択し、確認したい期間（or日時）を入力し、「この条件で検索」を押下。

※日付指定を行いたいときは、「日付指定」に L を入れ、日付けを入力します。

※「全期間」、「日付指定」の L を外せば、期間の入力が行えます。

※空港名等他の項目は入力しないで下さい。

（空港名を入力した場合、発生場所不明・到着／出発空港が自空港のデータが抽出されません。）

② 確認

結果が表示されますので、自空港にて把握している鳥衝突が登録されているか確認し、登録されていない場合は、運航者へ報告の要請を行う。

CSV形式でダウンロードする

4件中1件目から4件目を表示 <<前ページ 次ページ>>

速報番号	報告ID	種別	OPR	日付	便名	機種	REG	時刻	空港	RWY	影響	鳥種	衝突数	SIZE	衝突部分	損傷状況	操作
A → 1	27971	B/S	ADO	2014/4/29	ADO111	B735		20:45	RJSS	27	なし	不明	1		レドーム		詳細 編集 削除 履歴
B → 2	27881	B/S	JAR	2014/4/26	JAL3530	E170		UNK			なし	不明	1		発動機 No.1		詳細 編集 削除 履歴

A → 発生空港が自空港の報告

B → 発生空港は不明であるが、出発又は到着のいずれかが自空港の報告。

→ 確認の結果、自空港で衝突していることが明らかな場合は、「発生空港」「RWY」等補足する。

< 注意点 >

- ・滑走路で落鳥回収を行ったが運航者は不明である等、運航者と鳥衝突の因果関係が不確定の場合は、運航者に報告を要請することはできません。
- ・空港管理者は新規登録を行うことはできません。

< 参考 >

- ・「CSV形式でダウンロードする」を押下すると、表示されている報告を、CSV形式のデータでダウンロードすることができ、分析が容易となります。（操作方法例を添付します。）

③ データの補足

報告の内容を確認し、空港管理者で把握している情報（例：滑走路点検で落鳥を回収し鳥種が判明しているもの等）を補足願います。

<手順>

(1) 操作欄の「編集」を押下すると、編集画面が開きます。

速報	番号	報告ID	種別	OPR	日付	便名	機種	REG	時刻	空港	RWY	影響	鳥種	衝突数	SIZE	衝突部分	損傷状況	操作
	1	27971	B/S	ADO	2014/4/29	ADO111	B735		20:45	RJSS	27	なし	不明	1		レドーム		<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="履歴"/>

※「編集」ボタンが表示されない報告は、データ確定しているものです。変更が必要な場合は、サイト管理者に連絡をお願いします。

(2) 該当する項目を入力、修正して下さい。
(例) 鳥の種類

※ 鳥種が不明の場合は①～⑥のうち該当する番号を備考に入力して下さい。(H30.4.1発生分より)

- ① 自空港出発時又は到着時に機長より鳥衝突の報告を受けたが、機体に鳥衝突の痕跡が認められなかった場合
- ② 自空港到着時に鳥衝突が発生し、鳥衝突の痕跡が認められたが、空港管理者の都合で機体に付着した検体の採取ができなかった場合
- ③ 自空港到着時に鳥衝突が発生し、鳥衝突の痕跡が認められたが、運航者の都合で機体に付着した検体の採取が出来なかった場合
- ④ 自空港出発時に鳥衝突が発生したが、自空港での滑走路点検で検体が発見できなかった場合
- ⑤ 検体を採取し調査機関へ送付している場合
- ⑥ ①～⑤に該当しない場合 (※不明となっている理由を簡単に備考欄に記入して下さい。)

(3) 入力が終わったら、ページ下にある「確認画面へ」を押下して下さい。

※損傷事案は、できるだけ写真を添付してください！

添付ファイルアップロード：

タイトル	ファイル
<input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="削除"/>

(4) 入力内容を確認後、問題なければ「更新実行」を押下する。

※損傷事案は、できるだけ写真を添付してください！ イメージをクリックすると拡大表示します

以上で、登録（補足）完了となります。

上記編集方法等を含む、鳥衝突情報共有サイトの操作方法は、同サイト「Documentations」に掲載されていますので、参照下さい。

◇操作方法詳細：鳥衝突情報共有サイト取扱説明書 第4章空港管理者向け機能

◇鳥の種類：鳥衝突報告または鳥衝突データベースにおける鳥種一覧リスト